

第4回名張市介護保険推進協議会 議事録

日 時 令和2年7月6日（月）

午後1時30分から

場 所 名張市役所 3階 301・302 会議室

出席者（所属機関）

副会長 東明彦（名賀医師会）
小林庄藏（名張市老人クラブ連合会）
富森盛史（人権擁護委員）
粉川香織（社会福祉法人名張厚生協会）
橋本由佳（三重県介護支援専門員協会伊賀支部）
梅崎享子（名張市民生委員児童委員協議会連合会）
杉本丈夫（社会福祉法人名張市社会福祉協議会）
森本良樹（地域づくり代表者会議）
平井吾一（伊賀歯科医師会）
徳山六大（名賀保険薬局会）
福田千恵子（隠おたがいさん事務局）

事務局

名張市 福祉子ども部長 森嶋和宏
福祉子ども部理事 西寫知子
地域包括支援センター センター長 中野雅夫、係長 上田紀子
介護・高齢支援室 室長 栗原ひかる、係長 金森陽子、主任 中野美咲

1. 開会のあいさつ（名張市福祉子ども部長）

6月3日に第3回介護保険推進協議会を開かせていただいてから1か月ですが、皆様方大変お忙しい中、本日の介護保険推進協議会にご出席いただきありがとうございます。前日も申し上げましたが、この介護保険制度は3年毎に事業計画の見直しをする中で、高齢者の方が住み慣れた地域で暮らし続けられるよう制度を構築していくものです。高齢化が進展していく中で、事業計画を策定するためには、まず現状を把握し、その分析に基づいて令和3年度から令和5年度までの3か年の計画を策定していきたいと考えております。そんな中で、今日は私どもで行ったこれまでの現状把握の内容やアンケート結果等から次期の計画に反映させていただくに当たっての、具体的な案とまではいきませんが、考え方等をお示しさせていただいて、皆様方からのご意見をいただきながら今後の計画策定を進めていきたいと考えておりますので本日はどうぞよろしくお願いいたします。

2. 事務局より報告

(事務局)

本日は白澤会長より、都合により欠席のご連絡をいただいておりますので、本日の進行を東副会長にお願いします。本日は協議会委員 12 名中 11 名のご出席により、名張市介護保険条例施行規則第 47 条第 2 項の規定（委員の過半数出席で会議成立）に基づき、本会議が成立していることをご報告いたします。なお、終了後に会議録を作成します関係上、本会議の内容を録音させていただきますのでご了承ください。

3. 副会長あいさつ

新型コロナウイルス感染症や水害等、介護する方もされる方も想定外のことがたくさん起こるような時代です。今日は議題がたくさんありますのでよろしくをお願いします。

4. 議事

(会長)

それでは、議事に入らせていただきますが、1 番目の在宅介護実態調査の集計結果に基づく分析・考察について、事務局からご説明をお願いします。

(1) 在宅介護実態調査の集計結果に基づく分析・考察について

事務局より資料説明

(副会長)

ありがとうございます。1 番目の議題について、ご意見、質問はいかがですか。

資料 1 の 2 ページの検討テーマについて、わかりやすく体裁を整えていただきたい。また、7 ページの在宅限界点という言葉はどういうものか。

(事務局)

検討テーマの体裁を改めさせていただきます。在宅限界点という言葉は最近国で使われ始めていますが、もう少しわかりやすい言い方に改めさせていただきます。

(副会長)

16 ページですが、コミュニティバス等交通担当部門とも連携とあるが、要介護認定を受けている方は身体機能の低下もありコミュニティバスの運転手も介護の専門ではないので、実際は利用するのは難しいのではないか。

(事務局)

ご意見ありがとうございます。実際のところは単身、単独でコミュニティバスに乗っていただくのは難しいので、内容について、再度検討いたします。

(福田委員)

11 ページの介護者の就労継続のための支援について、介護サービスを利用されていない方がいらっしゃるということですが、介護者が平日に仕事を休まないと、市役所での相談もできない。相談窓口があるので使ってくださいと言っても、平日に休めない人が相談できるようなシステムがないと、使いたくても使えない。そういうところを考えると、月に数回でも、土日にも相談窓口が使えるようにしたらサービスの利用につながるのではないかと思います。

(富森委員)

2 点皆様に教えていただきたいのですが、必要と感じる支援や不安を感じる介護などの各グラフにおいて、「特になし」との回答がありますが、いくつかの選択肢がある中で特になし、というのは本当にニーズがないのか、選択肢にはないだけなのか、介護者が悩んでおられて上手く選択できないのか。特になしという回答をニーズがないとして判断してよいものか。

もう 1 つは、18 ページで、要介護 3 以上でも単身世帯以外は施設等を検討していない割合が高いとありますが、家庭で介護を行うというのは大変なことだというのは察しがつく中で、背景として老老介護のように年金生活であるために、介護のための支出が家計の負担となっているということがあり、施設を検討していないとなっているのではないかと。現実的にはどうなのでしょう。金銭的な問題は関係していないのでしょうか。教えていただきたい。

(事務局)

委員が今おっしゃったように、単身世帯以外のご家族の中では施設等を検討していない割合が高いという分析を出させていただいたところではありますが、費用に関してご負担が大きいからではないか、というご意見に関しまして、クロス集計版の報告書 90 ページのサービス未利用の理由の中で、利用料を払うのが難しいという選択肢がありますが、今回の調査では低くなっています。3 年前の調査ではもう少し高かったですが、600 という小さい分母数もあり、少し差異が出てきているかと思います。情報がないので利用料が高いのか安いのかもわからないというところでサービスが利用しにくいということもあるかと思います。情報を入手しようにもお勤めで忙しく、なかなか窓口に来ることができないために施設サービスの検討に至っていないということも実際には出てきているのかもしれないので、委員の皆様方が言っていただいたご意見がそれぞれ原因となった結果としてこのような数値に出てきているのかなと思っています。

(富森委員)

おっしゃるように 90 ページ以降で利用料についての回答の数値が小さいですね。よくわかりました。ありがとうございます。

(副会長)

他にいかがですか。無いようですので、2 番目の名張市の高齢者福祉サービス及び地域支援事業の現況について、事務局よりご説明をお願いします。

(2) 名張市の高齢者福祉サービス及び地域支援事業の現況について

事務局より資料説明

(副会長)

ありがとうございました。2番目の議事について、何かご質問はございますでしょうか。

無いようですので、3番目の第8期介護保険事業計画について、事務局からご説明をお願いします。

(3) 第8期介護保険事業計画について

ア. 第8期計画における施設整備について

イ. 日常生活圏域の変更について

事務局より資料説明

(副会長)

色々よく考えていただいています。ありがとうございます。何かご意見等ありますでしょうか。

無いようでしたら、その他事項として、事務局から何かありますでしょうか。

(事務局)

特にご意見なしということですので、第8期計画における施設整備について、日常生活圏域の変更については先程ご説明させていただいた方向性で第8期の計画で進めさせていただいてよろしいということでしょうか。

(副会長)

よろしいですね。

(杉本委員)

今ご提案いただいたものについての意見ではありませんが、確認させていただきたいのが、介護保険の施設において、先般からの水害やコロナの関係で、介護施設が事業をできないような状況もあると思います。1つの施設が運営できなかつたときに、他の事業所が連携しながらやっていくというのはこの計画に入ってくるのでしょうか。

(事務局)

この第8期の計画において、新しく盛り込む項目として、これまでは今おっしゃったようなコロナ対策等については議題には挙がっていませんでしたが、今年この様相の中で、何かしらのコロナ対策等の内容についても盛り込んでいく必要があるのではないかとこのところでご指摘もいただいたので、この議題については、水害等も含めまして次回以降も検討していく中で盛り込む方向で皆様にご意見をいただければと思っておりますので事務局としても検討したいと思います。

(杉本委員)

国の方から他の事業所から介護職員を派遣することについての話も示されているかと思いますが、そのあたりもこの計画に入るのか、その方向性もまた変わるかもしれませんが、今できることについては今後もやっていけると思っていますので、その部分についても考えていただきたい。

(事務局)

現在、国で次期計画に向けて介護保険部会や介護給付費分科会等で継続的に議論が行われています。現在の指針の中には今おっしゃったようなコロナ対策や災害については含まれていません。ただし、議論が継続されていく中で、そういった内容も含まれてくるのか、含まれなかった場合でも、介護事業所間での連携等、それぞれの事業者でのコロナ対策等についての指針が別に出されるのかというところに

については国の動向を見ていきたいと思っています。また、委員がおっしゃった、他の事業所からの職員派遣については県が担う部分でもございますが、県においても、名称は異なりますが介護保険計画というものを3か年で策定していただいていること、またコロナに関しては国から県に対して事業所に対しての補助があるというところで、県においても対応を考えていただいているところではございます。そういった情報も含めまして、またお示しできるものがあれば皆様にご報告させていただきたいと思います。

(副会長)

他にいかがですか。無いようですので、これで推進協議会を終わらせていただきます。ありがとうございました。

(事務局)

ありがとうございました。以上をもちまして、第4回名張市介護保険推進協議会を終了します。次回は8月19日を予定しておりますのでよろしくお願いいたします。